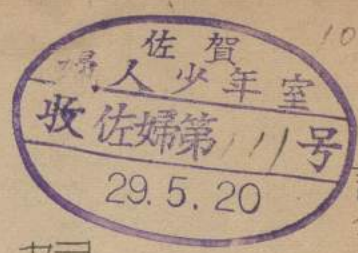


82 No. 15-2



10部

婦人関係資料シリーズ
調査資料号外二号（一九五四年四月）

婦人問題に関する世論調査（概要）

——特に職業生活を中心として——

労働省 婦人少年局
総理府 国立世論調査所



本調査は労働省婦人少年局の依頼により婦人の取業実態と婦人の取業に対する男女の考え方を明らかにするために国立社会論調査所が一九五四年二月一日より十九日まで全国五十五市町村に居住する満二十才以上六十才未満の日本人男女四四〇一人について面接調査したものである。抽出方法は六大都市と郡部とに於いては層化副次無作為抽出法、その他の都市に於いては、層化多段無作為抽出法によつて行い、調査対象者のうち三六二・一九〇・二%の回答を得た。

調査の結果表れた著しい傾向は次の通りである。

① 結果の概要

一、婦人対象者の取業

六大都市の未婚婦人の六〇%は勤務へ事務、労働についているが、有配偶者ではそれが大、六%に激減し内取をするものが一、五%家事のみというものが六七%にもなつてくる、その他の都市では、未婚者に向わず家族従業者がや、自立し有配偶の婦人の五・八%が自営をしている。郡部では、婦人は家族従業者として重要で労働源となつており「家事のみ」という有配偶の婦人は僅か三〇%弱で郡部の妻の労働負担の大きさを示している。

二、調査対象者の家庭に於ける満一四才以上の女子の数は一帯帯二人以下が一番多く七三、四%である。

満一四才以上の女子が勤務、自営、日雇、内取、家族従業等に働いている市所数は六四、四%（三六二・一市帯中二三・九市帯）である。

三、働いている婦人の収入は、勤務、自営、日雇のものは、月八、五〇〇円未満のものが六七、七%をしめ、内取のものは、月二、五〇〇円未満が七四、五%である。

四、内取のみでやつているもの（一・二名）のうち「内取の仕事が途切れたり」「利益が少なくて困つて
いるもの」は五一・七名に達し、そのうち「利益が少なくて困るもの」へ実数にして三三名のうちに
二名までは毎日、或いは時に夜おそくまで仕事をする必要に迫られている。一般に内取に賞される
時間としては、一日六時間以上というものが五名、一名にもはつていない。

五、働いていてもしかも家事をやつてゐる婦人へ実数一、八六〇名のうち家事と仕事の両方とうまく平
させてやつてゆけるとしてゐるものは僅か／＼数にしかならない。仕事のために家事を幾分とも犠牲
にしているものは三四％にのぼる。家事よりも仕事に重点をおきたいというものが四一・四％、これに
両方同じように重視するものの二四・七％を加えると、実に六六・一名もが仕事への意欲を示している。

六、調査対象者の取業意識

先ず生活に余裕がある場合婦人は家庭にいた方がよいか、それとも家庭外で積極的に取業をもつた方
がよいかという向に対しては、家庭にいた方がよいというものが男女合せて六七・六名、次に婦人の
取業は腰かけ（一時的）でもよいか、男性と全じような心構えで一生働く必要はないかという方につ
いては、一生働く必要なし、腰かけでもよいというものが四九・六名であつて、また、婦人は家庭にい
た方がよい、腰かけでもよいと考えてゐるものが多い。しかし市部の未婚婦人には家庭にゐるよりも
取業をもつた方がよいというものや（六六都市二八・一名、その他の都市一九・九％）また婦人が取業に
つく場合には腰かけではよくないというものが少みらず（六六都市三四・三％、その他の都市三六・九％
）見受けられる。

七、「婦人の取業向願」に対する調査対象者の関心

婦人が取業につくのは單に家計の補助のためが大部分であると考えているものが八三・二%もあるが、調査対象者の約三七%弱は「今後一生竹こうという取業婦人がだんだん増えてきている」ということを認めている。そして約七七%強が今後、年々就取を希望する婦人が増加してくるであろうと考えている。

② 質問と結果

一、調査対象者

(1) 調査対象者の取業

(1) 地域別

	大都市 %	その他の都市 %	郡部 %	全国 %
勤 務	四一・五	三五・〇	一四・三	二四・四
自 営	一〇・五	一九・三	二九・一	二三・二
日 雇	二・四	三・三	三・八	三・四
内 雇	四・五	四・一	一・九	二・九
家族従業	六・三	九・三	三・三	二・六
家事のみ	三〇・一	二四・四	一四・一	一九・六
なし	四・五	四・五	一・一	二・五
計	一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇

(12)

地域別、未婚婚別

未婚の男
%有配偶の男
%未婚の女
%有配偶の女
%

大都市
勤労 自営 日雇 内取 家族従業 家事のみ 根取

計
一〇〇、〇

計
一〇〇、〇

計
一〇〇、〇

計
一〇〇、〇

その他の都市

勤労 自営 日雇 内取 家族従業 家事のみ 根取

計
一〇〇、〇

計
一〇〇、〇

計
一〇〇、〇

計
一〇〇、〇

調登対象古帯の女名義の財産

(1)

部		部	
勤勞	三六、四%	二〇、七%	二九、〇%
白	八一	六二、一	三、二
日	九、四	六、一	一、六
内	〇	〇、四	一、六
家族従業	四三、二	九、九	四〇、三
家事のみ	〇、	〇	一九、五
無取	二、七	〇、四	四、八
計	一〇〇、〇	一〇〇、〇	一〇〇、〇
			一〇〇、〇
			五八、〇
			二九、九
			〇、九

大大都市

その他の都市

部部

全
國

男名義の土地あり	二六・八%	四一・九%	七四・三%	五七・六%
家屋あり	四三・九	五五・九	八〇・七	六七・九
女名義の土地あり	二・四	四・八	四・〇	三・九
家屋あり	四・二	五・三	三・三	四・〇
なし（不明）	四九・三	三五六	一三・四	二五・四
計（M・A）	一二六・八	一四三・七	一七六・〇	一五九・〇
男名義の株あり	一三・二%	一一・八%	一五・一%	一四・二
債務あり	三・六	四・二	五・四	四・八
女名義の株あり	二・七	二・五	一一・一	一・七
債務あり	一・二	〇・四	一一・一	〇・九
なし（不明）	八四・六	八四・八	八〇・四	八二・五
計（M・A）	一〇五・四	一〇五・〇	一〇三・八	一〇四・四

二、調査対象者母帯内における満一四才以上の女子の状況

(1) 人員別母帯数

	大大都市	その他の都市	郡部	全国 (実数)
一人あり	五〇・三%	四四・二%	三六・〇%	三九・五% (一四三二)
二人あり	二九・八	三〇・六	三六・七	三三・九 (一一三三)
三人あり	九・六	一五・〇	一八・八	一六・二 (五八七)
四人あり	三・六	四・五	六・五	五・五 (二〇〇)
五人あり	〇・九	一・〇	二・三	一・七 (六三)
六人あり	〇	〇・二	〇・三	〇・二 (一〇)
七人あり	〇	〇・一	〇	〇 (一)
いない	五・七	四・一	一・〇	二・六 (九七)
計 (実数)	(六六四)	(八八五)	(二〇七二)	(三三二一)

(2) 働いている女子人員別母帯数

	大大都市	その他の都市	郡部	全国
一人あり	三四・〇%	三七・五%	三六・〇%	三六・〇%
二人あり	八・七	一一・二	二五・七	一九・一
三人あり	三・〇	三・八	一〇・九	七・七
四人あり	〇	〇・二	二・三	一・三
五人あり	〇	〇・二	〇・五	〇・三
働いている女はいない	四八・五	四二・八	二三・三	三二・八
母帯内に女はいない	五・七	四・一	一・〇	二・六
計	一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇

「姓」「働いている」とは勤務、自営、日雇、内職、家族従業に携わっているものを云う。

三、本取及び内取の收入

(1) 本取

二、〇〇〇円未満	四、四%
四、〇〇〇円	一八、五
六、〇〇〇円	二六、二
八、〇〇〇円	一八、六
一〇、〇〇〇円	一二、二
一二、〇〇〇円	五、二
一四、〇〇〇円	一、九
一六、〇〇〇円	二、九
一八、〇〇〇円	〇、四
二〇、〇〇〇円以上	九、五
不明	(四〇九)

註、女子対象者の場合は本人について、男子対象者についてはその妻の場合を採録した。

(2) 内取

七、五〇円未満	一七、九%
一、二五〇円	二七、六
一、七五〇円	一九、三
二、二五〇円	九、七
二、七五〇円	一、一
三、二五〇円	六、七
三、七五〇円	二、四
四、二五〇円以上	〇、九
不明	三、八
計(実数)	(二〇六)

四、内取者の状態

一、へ対象者が女で内取のみして、他から収入がないもの一一名に

(1) 「賃金」内取仕事とぎれたり或はその利益が少なくて困ることが多いですか、

困らぬ 四二、八%

内取が不定期でへなくて困る 二二、三

利益が少なくて困る 二二、三

困る 七、一

不明 五、三

へ利益がなくて困る、單に困るというものに

(2) 「賃向」その為、に夜遅く迄仕事をしてゐるわけですか

毎日夜遅く迄する 三九、三%

時に遅く迄する 三九、三%

そんなことはないへ出承ない 二一、二%

不明 〇

(3) 「賃向」内取に使う時間は大体平均して一日何時間位ですか、

一時間以内 〇、八% 四時間以内 七一、一% 一〇時間以上 一五、七%

二時間以内 〇、八% 五時間以内 一六、九% その他 〇、八%

三時間以内 七一、一% 六時間以内 四一、〇% 不明 九、八%

◎ 内取の形態

大大都市では、和裁、綿糸の仕上加工、綿物、寮の留守番、菓子小売、パケンコ屋、製氷下請、ボール箱貼り、洋裁、仲居、房づくり、主人の商業デザインの外資、金を丸く切りぬくこと、及物の毛皮、玩具製造組立、皮革の上塗り、袋貼り、石綿の乾燥、手内取一般、洋服のトメボタン、カザリ、ズボンのまとめ、ナイコンの糸繰り、人造真珠の玉つなぎ、子守り手伝い、鼻緒製造、手袋のかぶり等

その他の都市では、作物の皮むき、和洋裁、十草の手提げ仕上げ、輸出向衣料品の刺繍、繰糸工、封筒

貼、糸引、綿物、魚の料理、手袋縫み、マツタ貼り、マツタ箱詰、製本、書道袋貼り、馬具卸品下

縫、経木綿、バンコック帽みつあみ、真珠玉組通し、真田綿み、女中一般、竹細工笛製造、ミシン加

工、養蠶、はぎれ屋、フウセン造り、筆料、飲食店手伝い、カーデン加工、行商、マツト箱み等

郡部では、日産、有松しほり、洋裁工、和裁、雜貨委託販売、鍋物、駄菓子、雜役、染物、紡績女工、養蠶、簾作り、竹細工、木炭の炭作り、タドン製造、針仕事、葉仕事、農家手伝い、焼鳥屋手伝い等が報告されている。

五、職業生活に対する意見

ノ「勤務、自営、日産、内取のものに」

(1)「傾向」今後も仕事をずっと続けてゆきたいへ続けさせたいと思ひますか、それとも適当なとき

にやめたいへやめさせたいと思ひますか、

現在従事している仕事をずっと継続してゆきたいへゆかせたい

もう止めたいへやめさせたい、職業したいを含む

その他

不明

計 (実数)

(2)「傾向」何故づけへさせたいのです

生活のためへ子供がいるから、家業だから

婦人の社会的進出を考へていふようなもの

その他

不明

了「傾向」何故やめへさせたいのですか

七三、四%

二二、八%

四、五%

二、一%

八五九三

七四、四%

二二、四%

二、七%

四、六%

職業したい

収入が少いとのみいつたもの

家事と両立しないから「育児、結婚、病弱」

その他

二一、二%

一四、一

五三、九

九、九

(4) 「傾向」へ家の中で内取をやっている者にのみもつとわりのよい仕事があれば家庭外で働きたい

と思いますか

働きたいへ働かせたいと思う

働こうへ働かせようとは思わない

一概に云えない

不明

二四、七%

五一、五

七、二

一六、四

2 (家族従業のものに)

(1) 「傾向」今後もその仕事と続けていきたいへさせたいと思ひますか、それとも適当な時にやめた

いへ止めさせたいと思ひますか

続けへさせたい

やめへさせたい

その他

不明

(2) 「傾向」続けへさせたいのは何故ですか

家業だから

生活のため

九〇、八%

六、七

〇

二、三

三九、二%

二五、八

人手不足だから

他に仕事がないから

社会的経済的進出を考えていそうなもの

その他

不明

(3) 「質問」やめ「させ」たいのは何故ですか

外にゆきに出たいから

今の仕事は困る（いやだ）

家事と両立しない（育児、結婚、病弱）

その他

3.（勤務、自営、日雇、内取、家族従業等の各仕事と家事との関連）

(1) 「質問」へ「家事をやっているものに」家事と仕事と両方うまくやって行けますか、それともどちら

か多少ともオロソカになりますか、どちらがオロソカになりますか、

両方うまくやれる

仕事の方がオロソカになる

家事の方が

両方とも

その他

不明

計（実数）

一、一、一

一〇、二

一〇、〇

〇、八

二、五

二、三、九 %

一八、四

四〇、二

一七、三

三六、一 %

二一、八

三、四、八

五、六

〇、四

一、〇

（一八六〇）

(2) 「傾向」へ家事をやっているものに家事と仕事とどちらに重点を置いてやっていきたいへやらせ

たい」と思いますか、どちらかといえどどちらですか、

家事に重点

仕事に

両方同じように

その他

不明

(3) 無職の女(妻)は何か経済的活動をしたいへさせたい」と思っているか、

「傾向」へ職業のないものに何か仕事をしようへもたせたい」という気はありませんか、

総数

男

女

仕事をするへもたせる」気がある

四四、三%

三四、二%

五二、二%

場合によつてはある

一一、八%

一一、七%

一、九%

仕事をするへもたせる」気はない

四一、八%

五二、八%

三三、一%

不明

一、九%

一、四%

二、五%

計(実数)

八一三〇九

八五七一

八七五六

(4) 「傾向」へ仕事をするへもたせる」気がある、場合によつてはあるというものに

家の中で助ける仕事が好きですか、外ではたらくても構いませんか、

家の外で働くのは困る

六八、二%

外で働いても構わない

二一、五%

場合による

九、七%

不明

四、四%

計(実数)

八七三八

大、職業意識

(1)「傾向」生活に余裕が出来たら女の人々は家庭にいた方がよいと思ひますか、それとも積極的に職業をもつた方がよいと思ひますか

大 都 市		そ の 他 の 都 市		郡 部		全 国	
家庭にいた方がよい	大八、三%	七四、九%	大四、三%	六七、六%	家庭にいた方がよい	大八、三%	七四、九%
一概に云えない	一八、〇	一一、〇	一〇、八	一二、二	一概に云えない	一八、〇	一一、〇
職業をもつた方がよい	一一、七	一一、九	二〇、四	一七、〇	職業をもつた方がよい	一一、七	一一、九
不明	一、八	一、〇	四、三	三、〇	不明	一、八	一、〇
計 (実数)	(六六四)	(八八五)	(二〇七二)	(三三二一)	計 (実数)	(六六四)	(八八五)
未婚の男	大九、〇%	七三、九%	五〇、〇%	六七、七%	未婚の男	大九、〇%	七三、九%
家庭にいた方がよい	一九、〇	一六、五	一一、五	二一、四	家庭にいた方がよい	一九、〇	一六、五
一概に云えない	一一、九	八、六	二八、一	九、九	一概に云えない	一一、九	八、六
職業をもつた方がよい	〇	〇、八	九、三	〇、八	職業をもつた方がよい	〇	〇、八
不明					不明		
未婚の女	大四、六%	七五、八%	四四、六%	八〇、四%	未婚の女	大四、六%	七五、八%
家庭にいた方がよい	二〇、二	一〇、八	一五、三	七、七%	家庭にいた方がよい	二〇、二	一〇、八
一概に云えない	一五、七	一、六	一九、九	一〇、八	一概に云えない	一五、七	一、六
職業をもつた方がよい	三、三	〇、六	〇	〇、九	職業をもつた方がよい	三、三	〇、六
不明					不明		
その他の都市	大九、四%	七四、九%	四四、三%	六六、〇%	その他の都市	大九、四%	七四、九%
家庭にいた方がよい	一三、五	九、六	八、〇	一〇、八	家庭にいた方がよい	一三、五	九、六
一概に云えない	二五、六	二、五	二二、五	一七、六	一概に云えない	二五、六	二、五
職業をもつた方がよい	一、三	三、四	四、八	五、四	職業をもつた方がよい	一、三	三、四
不明					不明		
郡 部	(六六四)	(八八五)	(二〇七二)	(三三二一)	郡 部	(六六四)	(八八五)

(2) 「貞向」

(a) 女の人がある職業につく場合は腰掛(一時的)でもよいと思ひますか、
 (b) 女の人は一生涯という所迄やる必要はないと思ひますか
 (註) 対象者に依つて(a)(b)いずれかをきいた。

大都市		その他の都市		郡部		全国	
腰掛でもよい	五七、一%	五四、六%	四五、一%	四九、六%	腰掛でもよい	五七、一%	五四、六%
場合による	一〇、八	一八、六	一四、二	一四、七	場合による	一〇、八	一四、七
腰掛ではよくない	二四、六	二二、一	二二、七	二二、九	腰掛ではよくない	二四、六	二二、九
不明	七、二	四、五	一七、七	一三、五	不明	七、二	一三、五
未婚の男		有配偶の男		未婚の女		有配偶の女	
腰掛でもよい	六一、八%	六三、四%	四一、八%	四六、八%	腰掛でもよい	六一、八%	四一、八%
場合による	一四、六	一二、一	三、一	九、九	場合による	一四、六	九、九
腰掛ではよくない	一六、二	一九、九	三四、三	二八、八	腰掛ではよくない	一六、二	二八、八
不明	七、二	四、三	一五、六	六、六	不明	七、二	六、六
大都市		その他の都市		郡部		全国	
腰掛でもよい	五四、九%	六〇、四%	四一、四%	五二、五%	腰掛でもよい	五四、九%	五二、五%
場合による	二一、三	一八、四	一八、八	一八、八	場合による	二一、三	一八、八
腰掛ではよくない	一七、九	二〇、一	三六、九	二二、五	腰掛ではよくない	一七、九	二二、五
不明	五、六	三、〇	五、八	五、八	不明	五、六	五、八
大都市		その他の都市		郡部		全国	
腰掛でもよい	四七、二%	四九、九%	四八、三%	四一、四%	腰掛でもよい	四七、二%	四一、四%
場合による	二〇、二	二一、八	二四、一	一三、四	場合による	二〇、二	一三、四
腰掛ではよくない	二一、六	二五、四	一六、〇	二一、一	腰掛ではよくない	二一、六	二一、一
不明	一〇、八	一一、六	一一、二	二三、八	不明	一〇、八	二三、八

(3)

「賃向」 話は衰りますが、一般的に云つて家庭外で取業についている女の人には、生活費の足しにしたいという人と、何か社会とつながりを持たたいという人とどちらが多いと思いますか。

総数

男

女

家計の足しが多い

八三、二%

八四、八

八一、六

一概に云えない

二、一

二、二

二、〇

社会のつながりのためが多い

六、四

七、〇

五、七

その他

〇、八

〇、五

一、一

不明

七、七

五、二

九、三

(4)

「賃向」 家庭外で取業についている女の人では一生働こうと云う人がだんだん増えて来ていると思いますか、それほどでもないと思いますか。

増えて来ている

三六、五%

四八、九

三九、一

それ程でもない

四三、八

二五、五

三七、四

一概に云えない

七、二

七、〇

七、四

不明

一、三

八、三

一五、九

(5)

「賃向」 年々取業につくことを希望する女の人が増えてゆくと思いますか、別にそうは思いませんか。

増えてゆく

七七、三

八〇、九

七四、〇

一晩に云えない

五、七

六、三

五、一

増えるとは思わない

七、五

六、八

八、一

不明

九、四

五、九

一、二、六

(6)

「傾向」(前項の傾向で増えてゆく或いは一概に云えない)女の人の就取口もだんだん多くなつてゆくと思ひますか、それともそう多くはならないと思ひますか、

	大都市	その他の都市	郡部	全国
多くなつてゆく	二八、三%	三二、二	三八、三	三四、八%
そう多くはならない	五七、四	五五、四	四四、七	五〇、〇
一概に云えない	四、一	八、四	一〇、四	八、七
不明	一〇、〇	三、七	六、五	六、四
計 (実数)	(五七八)	(八〇二)	(一六二八)	(三、〇〇八)

